

栃高体連柔道専門部主管大会における感染拡大予防ガイドライン

R3.10.29(Ver3)

全日本柔道連盟（新型コロナウイルス感染症対策委員会・医科学委員会）が示した「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」に準じて実施する。

感染が想定される場面	具体的な予防策
<p>4. 試合場の留意点</p> <p>1) 主催者の責務</p> <p>①会場の選択と設営、総人数の検討</p> <p>②感染症防止対策チェックシートの実施と保管</p> <p>③感染症防止対策チェックシートや症状による入場拒否</p> <p>④感染予防措置の決定と事前通知、同意取得</p> <p>2) 選手への対応</p>	<p>○ユウケイ武道館（栃木県総合運動公園武道場）から示される第一道場入場者150名（観客席750名）を基準として、密を避けた大会の運営を実施。</p> <p>※敗者は観客席に移動する。</p> <p>○施設の消毒はユウケイ武道館（栃木県武道館※以下県武道館）職員が8：30と13：00に実施。</p> <p>○試合場の消毒については開会式（開始式）後・試合の合間・試合終了後とその他必要に応じて適宜実施。</p> <p>○専門部HPからダウンロードした感染症防止対策チェックシート（質問事項）を実施して大会当日に大会本部に提出 → 大会本部のチェック → 専門部保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手→引率者（監督、コーチ）→大会本部 ・役員・引率者（監督、コーチ）→大会本部 ・観客（保護者）→引率者（監督、コーチ）→大会本部 <p>○感染症防止対策チェックシートの確認者については②と同様。</p> <p>症状による入場拒否は、選手・応援生徒・役員・監督コーチについては記録表や感染症防止対策チェックシート（専門部把握）の下、厳格に実施。観客は各校顧問・引率者に周知、保護者の理解を得た上で、感染症の疑いがある者、および入場の際に行う体温チェックにて発熱が認められる場合は会場内への入場を拒否。</p> <p>○感染予防措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用 選手→試合以外は着用。（但し、呼吸困難や熱中症の心配がある場合は着用しなくてもよい。）役員、引率者（監督、コーチ）観客（保護者）→ 原則常時着用。 ・三密を避ける取組とうがい・手洗い・手指消毒（アナウンスによる周知を複数回にわたり行う） <p>○事前周知と同意取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校顧問を通じ、感染症防止対策チェックシートと体温チェックの事前周知する。 ・大会当日、発熱者等の入場拒否を行う等の同意を引率者（監督、コーチ）は事前に取得する。 <p>○大会2週間前からの感染症防止対策チェックシートを引率者が大会本部に提出（大会当日）。</p> <p>○昼食は観客席で、席間隔をあけて（一席以上）摂る。</p> <p>○試合前・後に手洗い、うがい、手指消毒の実施。</p> <p>○試合に敗退した選手は、速やかに観客席に移動する。</p>

3) 監督・コーチ・大会役員の対応	○選手、保護者の大声での応援や指示は、監督の責任で禁止させる。 ○感染症防止対策チェックシートを専門部HPからダウンロード（大会本部から配布）をして、大会当日に大会本部に提出。
4) 審判員および係員の対応	○感染症防止対策チェックシートを専門部HPからダウンロード（大会本部から配布）をして、大会当日に大会本部に提出する。 ○昼食は柔道専門部が指定した場所（会議室1）で摂る。
5) 観客のあり方	○全柔連指針に準じた感染予防措置を厳格に行う。
6) その他	○開・閉会式の簡略化、会議の簡素化。 ○選手・役員間のソーシャルディスタンスの確保。 ○毎試合の前後に手洗いと手指消毒を実施。消毒液については専門部で準備をして各試合会場及び出入りに設置。 ○大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、専門委員長に報告。参加者全員に周知し、必要に応じた検査実施を促し、感染拡大防止に努める。 →副委員長 →各顧問 →参加者及び保護者 専門委員長 →審判長 →審判員 →県柔連 →役員

※上記以外は全日本柔道連盟が2021.8.6に示した「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針（Version4）」に準ずる。

<特に注意を要す事項>

1) 選手の試合参加の判断基準について

3) 選手への対応

選手は試合場（計量会場）に到着時、選手受付で2週間前からの健康記録表を大会委員長に提出します。選手の試合参加の判断は、以下の入場可否の基準を参考にしてください。

<選手の試合参加の入場可否の基準>

14日前	-13	…	-8	-7	…	-4	-3	-2	-1	当日
入表 開記録										入場日 (試合・ 計量日)
X 連続する3日以上 の発熱 ^{注1)} ・諸症状あり			X 2日以上 の発熱 ^{注1)} ・諸症状あり			X 1日でも の発熱 ^{注1)} ・諸症状あり				
X健康記録表や誓約書など大会が必要とした書類を提出しない										

注1) 発熱の基準は、37.0度以上とする。ただし、平熱が37度前後の場合は、平熱+0.5度までは参加を認める。平熱は直前2週間の平均値とする。

2) ワクチンによる発熱について

ワクチン接種による発熱に関しては「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針（Version4）」では示されていないので、「令和3年度栃木県高等学校体育連盟主要事業新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に係る対応ならびに参加可否判断について」に準ずる。

(公財) 全日本柔道連盟「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」

参考文献

栃木県教育委員会「学校再開後の教育活動に関する県立学校の指針」

栃木県教育委員会「部活動実施に係わる対応マニュアル」

令和3年度 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部主管大会における
感染症防止対策チェックシート質問項目

- 1 参加（見学・応援）について以下のガイドライン等を理解して遵守する。
 - ・全柔連「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」
 - ・栃柔連「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習等の対応について」
 - ・栃高体連「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」
 - ・柔道専門部「感染拡大防止ガイドライン」
- 2 以下の事項について、本日の体調を含めて参加前2週間において異常等がない。
 - ・平熱を超える発熱がない。
 - ・咳や咽頭痛の症状がない。
 - ・嗅覚や味覚に異常がない。
 - ・倦怠感や呼吸困難の症状がない。
 - ・身体が重く感じる、疲れやすい等
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性と診断を受けた方との濃厚接触がない。
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要としている国、地域等への渡航又は該当在住者との濃厚接触がない。
 - ・その他、新型コロナウイルス感染症と思われる症状がない。
- 3 参加者全員マスクを準備して着用する。

※柔道専門部「感染拡大防止ガイドライン」で着用を義務付けて無い場合を除く。
- 4 体調の不良を感じたら速やかに活動を中止して帰宅する。
- 5 他の参加者との距離（1～2m以上）を確保する。
- 6 こまめな手洗い・うがい、アルコール消毒等による手指消毒を実施する。
- 7 大きな声での会話や応援等をしない。
- 8 会議や打合せ、昼食時等においても三密を（密接、密集、密閉）を回避する。
- 9 用具や道具の使い回し、貸借は行わない。
- 10 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、速やかに記載責任者から専門委員長に報告をする。

11 選手は大会参加について、校長が認めて、本人（生徒）と保護者の了解を得ている。